

令和元年度補正 重点分野・テーマ別の販売促進活動報告書

令和2年3月1日

JA全農インターナショナル(株)

令和元年度 補正重点分野・テーマ別の販売促進活動について、記1の補正事業を活用して記2のとおり実施しましたので、報告いたします。

記1

令和元年補正輸出拡大が期待される分野・テーマ別の海外販路開拓等への支援強化事業のうち「重点分野・テーマ別の販売促進活動」

記2

対象国・地域 : 香港（柑橘）

実施期間 : 令和2年 1月1日（金）～2月28日（日）

1. 『香港 小売店舗 JA全農フェア』について

- (1) 期間 : 令和2年1月1日(金)～2月28日(日)
- (2) 場所 : AEON、Apita、YATA、Don Don Donki
- (3) 出席者 : 全農インターナショナル香港有限公司 アンソニー担当
- (4) 内容 : 日本産青果物が定番化している上記スーパーにおいて、プロモーションを実施した。
今回は宮崎県産の出荷が本格化する金柑を中心に添え、その他中晩柑類も織り交ぜながら売り場づくりをおこない、プロモーションを組み立てた。
- (5) 販売青果物
金柑(宮崎・鹿児島産)、伊予柑(愛媛県産ほか)、デコポン(熊本県産)、晩白柚(熊本産)
- (6) 着荷状況
すべての商品はほぼ良好であった







2. 所感

2月には旧正月によるスーパーマーケット食品需要の高まりを受け、金柑の販売を中心に売れ行きは好調であった。金柑に関しては、3kgバラなどのバラ品が産地スペックの主であるが、現地量販店が求めるスペックは個包装スペックであり、また旧正月向けには1kg程度の贈答用パッケージが好まれる。そこで今回は1kgに250gのパックが4パック入る1kg梱包のオリジナルパッケージを新たに製造することにより、消費者ニーズに対応した。このことも販売促進に寄与したものと推察する。

3. 今後の進め方

金柑については、まだまだ旧正月向けに伸びしろはあるものと認識している。既存のパッケージだけではなく、より量販店や消費者のニーズを検証し、求められる商品を産み出していきたい。日本国産金柑